

## 第4回平塚市社会教育委員会議要旨

日 時	令和3年7月27日（火）15時00分～16時30分
会 場	平塚市役所619会議室
出席委員	牧野賢治、吉成伸司、江水是仁、栗原邦夫、丸島隆雄、原田三行、渡邊彩子、北澤浩一、府川文子、大和田マイ子
事務局	平井社会教育部長、鈴木社会教育課長、西山中央公民館長 坂田課長代理、木村主査、市川主事
傍聴者	なし

### 会議要旨

---

#### 1. 議長あいさつ

新型コロナウイルスのワクチン接種が進んできており、2回目の接種を終えた方もいるのではないかと思う。ワクチン接種を終えても安心せず、感染症対策を継続していかないといけない。コロナ禍ではあるが、東京オリンピックが開催されている。オリンピックの熱戦のようにテーマ協議について熱い議論をしていけたらと思っている。

#### 2. 議事

##### (1) 神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について

###### ①書面総会について

事務局から事前に送付している書面総会の回答票の提出について案内した。

###### ②研修会について

事務局から9月13日(月)に開催が予定されている県社教連の研修会の案内をした。

##### (2) テーマ協議

議長から前回会議で出されたコロナ禍での取り組み例の資料を基に紹介された。

###### ○議長

6月の第3回会議以降、他の取り組み例があれば出してもらいたい。また、今後のあり方など意見があれば紹介いただきたい。

###### ○委員

地域と子どもたちとのコミュニケーションの場となっているさまざまなイベント（盆踊り大会、地区レク）が昨年に引き続き全て中止となる可能性が高いようである。私たちの自治会でも2日間で300人程の子どもたちが参加しているが残念ながら中止となってしまった。自治会としては、とても大きな痛手だ。何かこれらに替わる

よい案があればご意見をいただきたい。

○委員

港地区では、昨年度のイベントや各種団体の事業が中止になってしまったが、今年度はお神輿を皆で担ぐのを止め、車に載せて、密にならないよう工夫してお祭りを実施した。

○委員

地区レクは、各地区に地区レク実行委員会が組織されているので、その実行委員会で実施すると決めれば、今年は実施できるのではないか。

○委員

市から一律で中止にするよう要請されているわけではないが、ガイドラインで示されている条件が厳しいので、できない地区が多いのではないか。

○委員

2年任期で委員をやっている方が多いので、イベントが2年連続で中止になってしまうと今まで続いていたものの継承が難しいことが大きな課題だと思う。

○委員

港地区の工夫したお祭りの実施はすごくいい事例だと思う。中止にする選択もあるが、安心・安全に配慮して工夫しながら各地区でも実施できるといいのでは。参加していない人も飾りを見ることで来年は参加しようとなるかもしれない。

○副議長

やり方を工夫した事例として、豊田公民館で実施しているナイトウォークがある。例年は子どもたちを何人かのグループに分けて実施していたが、今回からは家族毎の単位とすることにした。また、受付時間も密にならないよう時間をずらしたり工夫して実施される予定。

○議長

コロナ禍でリモート会議が当たり前になった。便利ではあるが、リモートだけに頼ってしまうと人と人との繋がりが希薄にならないかと感じている。改めて対面での交流の重要性を感じているが、他の委員から他にご意見はあるか。

### ○副議長

コロナ禍で真の触れ合いが少なくなっていると感じる。花水地区の自治会では、コロナ対策をした上でラジオ体操を実施しようとして計画しているが、「地区内の方からマスクの効果を信用できない。」や「マスクをして子どもが皮膚炎になったらどうするんだ。」等のイベント開催に疑問を投げかける意見が寄せられている。このような意見により主催者は中止という選択をしてしまうこともある。触れ合いの大切さを感じて企画しているのに本当に残念なことだ。何かあった時には誰が責任を取るのかといった風潮になっているが、この殻を破っていかないと真の触れ合いはできない。イベントに参加するかどうかは最終的には個々の判断になるのでは。

### ○委員

今、人と繋がれないことが苦痛になっている方が多いのではと感じている。このような方のために公民館の空きスペースや空いている部屋をフリースペースとして開放してもいいのではないか。子どもたちの健やかな心の健康を目的とした施設の開放であれば、ルールを決めて実施してもいいのではと思う。

### ○委員

「なぜ密になってはいけないのか」といった原因が判っていないと被害者意識が生まれてしまう。「密になるな」と言われても何で密にならないようにしなければいけないか、こういう理由だから集まらないで欲しいということを判るように説明することも社会教育の役割なのではないか。なぜ集まってはいけないかをエビデンスに基づいて説明して認識を共有することが大事ではないか。このような認識を共有する機会を公民館や社会教育施設で働きかけることをやるべきかと思う。

また、オンラインを使ってお祭りの雰囲気や音を音や動画として繋いでいくことができるのではと思う。イタリアでロックダウンの時にアーティストがベランダで演奏したりして、ものすごく共感を得られたという事例がある。聴覚を通して共有体験をするとともに記録することも大切である。いつ大災害が起きて地域のコミュニティが壊れてしまうか判らないので、このコロナ禍を契機にして動画資料を記録することで地域のアーカイブ化を進め、未来に伝承していくことも必要なことではないか。

### ○議長

学校では、認識の共有として何かあるか。

### ○委員

学校での認識の共有ということでは、感染症対策がメインになる。中体連では、昼食をなしにしたり、1日開催のところを2日間に分散したり、競技の時間短縮のため

に1セットあたりのポイントやセット数を減らすなど工夫をしながら実施している。

○委員

子どもたちの行動履歴を記録するようなことはあるのか。

○委員

各部活動によって差がある。陸上などでは、詳細に記録していることがあるそうである。

また、認識の共有とは別の話になるが、今年のことだけでなく、今後のことを考えていけないといけないのではないか。具体的に工夫をしながら、実際にやっていかないと見えてこないこともある。

コロナ禍で実践したことがコロナの終息後に継続して残ってくることがあるだろうと思う。

今の時代は、多様な価値観が出てきている。今までの基準を見直すことが必要なのでは。今の子どもたちはリモートでも人と人との繋がりが持てるのかもしれない。例えば、「どうぶつ森」というゲームを通して、世界中の人と繋がり、ゲームの中で誕生日パーティーをして祝ってくれたということがあるそうだ。オンラインでの繋がりと直接の対面の繋がりを融合させてもいいのかもしれない。

○委員

小学校では、通常音楽会は3～6年生で実施していたが、今回は分散して5、6年生に絞って実施した。密回避のため、1学年毎の入れ替え制で保護者を各家庭1名に限定して観覧できるようにして実施することができた。

制約がある中での音楽会の練習でしたが、子どもたちは一生懸命に練習を積み重ねて、素晴らしい演奏を披露し、子どもたちの成長を感じた。コロナの感染状況を見通すことは難しいが、子どもたちの安全を第一に皆で今できることをできる範囲で実施していきたいと思う。

○委員

今後の各公民館の事業の見通しはどのような状況か。

○中央公民館長

今後のコロナの感染状況やワクチン接種の状況によるが、原則的に事業はできることをできる範囲で実施する方向で動いている。基本的な感染症対策を取りつつ、参加定員を減らしたり、分散開催をしたり、広い会場で実施したりしている。

○委員

前回の会議で公民館でのシニア学級で工夫しながら実施するという話があったが、実施されてどうだったか。

○委員

シニア学級は、通常 20 名のところを半分の 10 名にし、分散開催をして実施した。シニアの方の参加率は概ね良かった。これから実施する児童・生徒地域参加事業は感染症対策を取りつつ、定員を減らして、広い部屋で実施する予定だが、コースによっては定員に達しないものもあるような状況。

○委員

コロナ禍で対面できなかったことで進んだこともある。例えば、博物館での動画配信や図書館での電子図書館の取り組みは報告書に入れてもいいのではないか。

リモート会議もコロナ禍で対面できないから浸透してきたもので、今までよりも気軽に頻繁に会議をすることができるようになった。

○議長

崇善地区のシニア向けのスマホ講座の状況はどうか。

○委員

シニア向けにパソコンとスマホ講座を実施しているが、多くの参加者が集まっている。特に初心者には機器を持っていないので、貸出用の機器を市から補助されており、好評である。

シニアは機器に慣れた子どもたちとのコミュニケーションのきっかけになっているようである。デジタル機器に慣れて、「ちいき情報局」のホームページを見るきっかけになってもらいたい。

コロナ禍の内容ではないが、7月3日に市の消防本部が新しくなった。自治会のメンバーと見学したが、大変素晴らしい最新の設備になっている。落ち着いた頃に小学生を対象とした見学会を実施してみたらどうか。

○社会教育部長

社会教育施設では、博物館や美術館でも小学生を対象とした鑑賞会を実施している。公民館事業でも消防庁舎の見学について考えていきたい。

○委員

文化芸術ホールが新しくなり、令和4年3月に式典が予定されている。市民部の担

当課にも提案しているが、オープンの式典に中学、高校、大学等の吹奏楽部に出演してもらってみてはどうか。

○社会教育部長

ご提案を所管する市民部に情報提供したい。

○議長

本日の協議はここまでとします。ご意見ありがとうございました。

---

(4) 今後の会議予定の確認

第5回会議日程…令和3年10月26日(火) 場所は619会議室

---

4. その他

以上